

上部消化管内視鏡検査の説明および同意書

【概要】

上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査は、食道・胃・十二指腸(一部)のがん、ポリープ、炎症などの病気を発見する最も精度の高い検査です。口から挿入する内視鏡は、柔らかく、鉛筆くらいの太さなので、挿入されても呼吸ができなくなることはありません。

【検査まで】

- ① 午前中の検査の場合は、検査前日の夜8時以降絶食して下さい。当日は食事を摂らないで下さい。水やお茶、スポーツドリンクに限り水分補給はかまいません。
- ② 当日朝の心臓や血圧の内服薬は通常通り内服して下さい。当日朝の糖尿病のインスリンは中止して下さい。血をさらさらにする薬を内服されている場合は、前もって中止する場合がありますので医師と相談して下さい。
- ③ 当日検査前に、のどの麻酔や胃の働きを抑える為の注射を行います。注射の影響で、目がチカチカしたり、物が二重に見えたりする症状が起こりえます。当日、車やバイク、自転車の運転は危険ですので、絶対にしないで下さい。

【検査の実際】

- ① 検査時間の目安は約5分です。
- ② 検査中に口の中に溜まってくる唾液は、飲み込まずに、垂れ流してください。
- ③ 検査中に異常が疑われる場合は、色素を撒布したり、良性・悪性の診断やピロリ菌感染の診断を目的に粘膜組織の一部を採取(生検)する精密検査を行います。
- ④ 検査後、のどの麻酔がとれるのに30分程度かかります。飲食はのどの麻酔がとれ、飲み込む反射(嚥下反射)が正常に戻るまで(約1時間)お待ち下さい。検査後、のどの奥が多少ひりひりしたり、胃内に空気が残り多少お腹が張ったりすることもあります。これらの不快感は時間が経てばなくなりますのでご安心ください。

【起こりうる偶発症(十分注意しても、事前に「絶対ない」と言い切れないもの)】

- ① カメラがこすれることや嘔吐による喉(のど)から十二指腸までの粘膜裂傷、出血、穿孔(穴があくこと)
- ② 粘膜組織の一部を採取すること(生検)による出血
- ③ 使用する薬剤(咽頭麻酔剤・鎮痙剤・鎮静剤)によるアレルギーショック・低血糖・不整脈など
- ④ 咽頭の損傷・穿孔、誤えん性肺炎
- ⑤ 治療中の病気(脳梗塞・心筋梗塞など)の悪化、その他

日本消化器内視鏡学会が行った第5回全国集計（2010年）では、これらの合併症は0.005%、死亡例も0.00019%と報告されています。このような偶発症を避けるべく細心の注意を払いますが、万一生じた場合には最善の対処を致します。ただし、止むなく処置（入院、手術を含む）が必要になった場合の医療費は患者さんの負担となりますのでご了承下さい。

【鎮静剤の使用について】

当クリニックでは内視鏡検査を行う際に、必要に応じて鎮静剤を使用する場合があります。鎮静剤は、検査の際に緊張を和らげ、検査を楽に受けて頂くために使用します。方法は静脈注射になりますが、静脈炎（血管の周囲が赤く腫れたり痛みを伴う）を起こす事があります。また、呼吸循環抑制を起こすので、指先で血液中の酸素濃度をモニターしながら検査を行います。

鎮静剤を使用した場合は十分に休んで（30分～1時間）から帰宅して頂いています。しかし、その後も眠気が残り判断力が低下する事があります。

当日、車やバイクで来院された場合、鎮静剤は使用できません。

◎料金の目安は、1割負担の場合、およそ 1,300円～5,500円、3割負担の場合、およそ 4,000円～15,000円です。

（使用薬剤、処置内容、生検個数により異なります）

※当院では患者様の清潔な環境を保つため、使い捨てのシーツ等を採用しております。そのため、消耗品代として別途500円いただきますことをご了承下さい。（H26.4月より改定）

同意書

神津クリニック 院長・神津 隆弘 殿

私は、上部内視鏡検査および治療を受けるにあたり、その必要性、安全性（偶発症、副作用）、方法について口頭および文書（上記の記載事項）にて説明を受け、よく理解しましたので、その実施を同意します。

____年 ____月 ____日 患者署名もしくは代理署名

（緊急時のご連絡先）

御芳名 _____ 続柄 _____ 電話番号 _____

____年 ____月 ____日 説明医師もしくは看護師